

RV34xシリーズルータでのLANおよびDHCPの設定

目的

ローカルエリアネットワーク(LAN)は、デバイスの相互接続に使用されるホームビジネスやスモールビジネスなどのエリアに限定されたネットワークです。LAN設定は、接続できるデバイスの数と、それらのデバイスが受信するIPアドレスを制限するように設定できます。

Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)は、ネットワーク上のデバイスのIPアドレスを自動的に設定して、相互に接続できるようにするネットワークコンフィギュレーションプロトコルです。IPアドレスは、ネットワーク間の通信を可能にするネットワークデバイスの論理識別子です。アドレスは指定された時間ホストにリースされます。リース時間が経過すると、そのIPアドレスを別のホストに割り当てることができます。

すでにDHCPサーバがある場合は、ルータをDHCPリレーとして使用できます。クライアントがルータにDHCP要求を送信すると、ルータはDHCPサーバにクライアントのIPアドレスを提供するように依頼します。ルータとDHCPサーバは、機能するために同じサブネット上にある必要はありません。ルータは、ホストとDHCPサーバ間の連絡窓口として機能します。

オプション82はDHCPリレー情報オプションです。DHCPリレーは、ホストと同じネットワーク上にないリモートDHCPサーバ間のDHCP通信を許可するために使用される機能です。DHCPリレーエージェントは、クライアントからDHCPサーバにDHCPパケットを送受信するときに、自身に関する情報を含めることができます。接続を完全に特定することで、DHCPプロセスのセキュリティが強化されます。

このドキュメントでは、RV34xシリーズルータのLANおよびDHCPの設定方法を説明します。

該当するデバイス

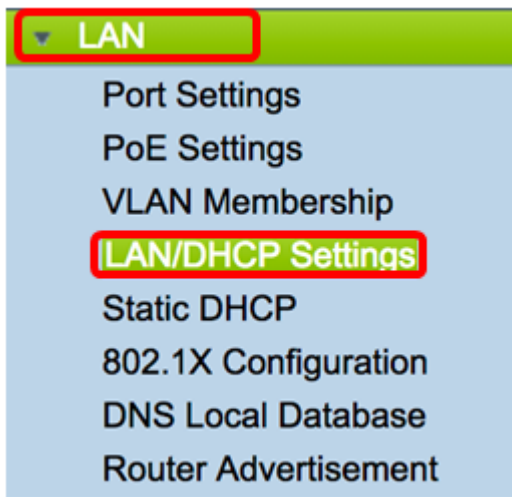
- RV34xシリーズ

[Software Version]

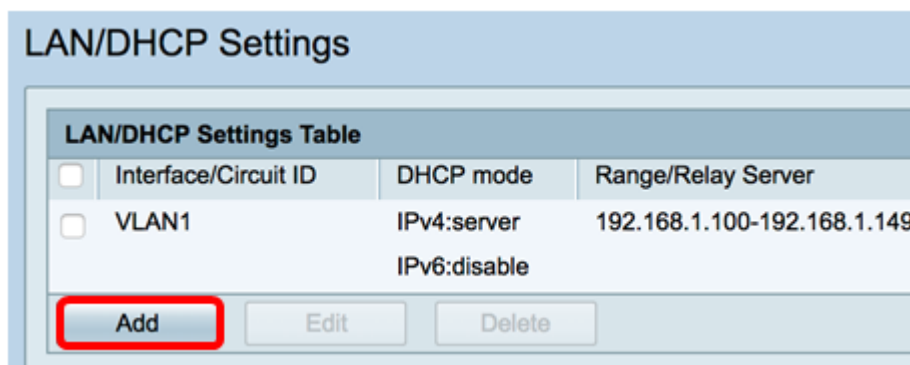
- 1.0.01.17

新しいDHCP設定の追加

ステップ1：ルータのWebベースのユーティリティにログインし、[LAN] > [LAN/DHCP Settings]を選択します。



ステップ2:[LAN/DHCP Settings]テーブルで、[Add]ボタンをクリックして、テーブルに新しいエントリを作成します。



ステップ3:[Add/Edit New DHCP Configuration]領域で、オプションボタンをクリックして、DHCP設定を設定する方法を選択します。次のオプションがあります。

- [Interface] : これを選択した場合は、ドロップダウンメニューからVLANインターフェイスを選択します。リストの内容は、ユーザ定義のVLANによって異なります。手順については、「[インターフェイスの設定](#)」セクションに進んでください。
- オプション82 Circuit : これを選択した場合、DHCP要求の送信先である回線インターフェイスを識別する、説明とユーザ定義のASCII(American Standard Code for Information Interchange)文字列を入力します。手順については、「[オプション82の設定](#)」セクションに進んでください。

Add/Edit New DHCP Configuration

Interface

Option 82 Circuit

インターフェイスの設定

ステップ1:[Interface]ドロップダウンメニューから、VLAN IDを選択します。次に、[Next] をクリックします。

注：この例では、VLAN 25が選択されています。

Add/Edit New DHCP Configuration

Interface

Option 82 Circuit

ステップ2：オプションボタンをクリックして、IPv4のDHCPタイプを選択します。オプションは次のとおりです。

- Disabled：ルータのIPv4のDHCPサーバを無効にします。これを選択した場合は、「[IPv6 DHCPの設定](#)」セクションに進んでください。
- Server:DHCPサーバは、それぞれのプールからクライアントにアドレスを割り当てます。これを選択した場合は、「[IPv4 DHCPサーバの設定](#)」セクションに進み、「次へ」をクリックします。
- リレー：ルータを介して別のDHCPサーバからDHCP要求と応答を送信します。これを選択した場合は、[IP Address (IPv4)]フィールドにリモートDHCPサーバのIPアドレスを入力し、[Next]をクリックします。次に、[Configure IPv6 DHCP Server](#)セクションに進

み、[Next]をクリックします。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Type for IPv4

Disabled

Server

Relay

設定 IPv4 DHCPユーザー

ステップ1:[*Client Lease Time*]フィールドに、リース期間の時間(分)を入力します。これは、クライアントがDHCPプロセスによって与えられたIPアドレスを使用してルータに接続できる時間です。

注：この例では、クライアントリース時間としてデフォルト値1440が使用されます。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv4

Client Lease Time: Min (Range: 5-4320)

Range Start:

Range End:

DNS Server:

Static DNS1:

Static DNS2:

WINS Server:

DHCP Options

Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

Option 67 - Configuration Filename:

ステップ2:[*Range Start*]フィールドに、VLAN内のホストに割り当てるIPアドレスのプールの開始IPアドレスを入力します。範囲は、PPTPとSSL VPNをオーバーラップさせずにサーバが割り当てることができるIPアドレスの最大数まで設定できます。

注：この例では、アドレス192.168.11.100がVLANで定義されたIPアドレスの範囲内にあるため、アドレスが使用されています。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv4

Client Lease Time: Min (Range: 5-4320)

Range Start:

Range End:

DNS Server:

Static DNS1:

Static DNS2:

WINS Server:

DHCP Options

Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

Option 67 - Configuration Filename:

ステップ3:[Range End] フィールドに、VLAN内のホストに割り当てるIPアドレスのプールの終了IPアドレスを入力します。これは、VLANで設定されたIPアドレスの範囲内である必要があります。

注：この例では、192.168.11.149が使用されています。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv4

Client Lease Time: Min (Range: 5-4320)

Range Start:

Range End:

DNS Server:

Static DNS1:

Static DNS2:

WINS Server:

DHCP Options

Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

Option 67 - Configuration Filename:

ステップ4:[DNS Server]ドロップダウンリストから、使用するDNSのタイプを選択します。ドメインネームシステム(DNS)は、ユーザにとって理解しやすいドメイン名を、デバイスが使用するIPアドレスに変換するインターネットサービスです。

- dns-server-proxy : ルータはDHCPクライアントのDNSサーバとして動作します。ルータは、そのルータ上のすべてのDNS着信クエリーの仲介役として機能し、未知の要求を送信して将来の使用のために保存します。

- dns-server-provided-isp:DHCPクライアントにインターネットサービスプロバイダー (ISP)のDNSサーバのIPを提供し、DNSクエリを実行します。
- dns-server-static : ユーザが入力したDNSサーバのIPアドレスをDHCPクライアントに提供して、DNSクエリを解決します。

注：この例では、dns-server-staticが選択されています。他のユーザが選択されている場合は、ステップ7に[進んでください](#)。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv4

Client Lease Time: Min (Range: 5-4320)

Range Start:

Range End:

DNS Server: dns-server-static
 dns-server-provided-isp
 dns-server-proxy

Static DNS1:

Static DNS2:

WINS Server:

DHCP Options

Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

Option 67 - Configuration Filename:

ステップ5:[静的DNS1]フィールドに、プライマリDNSサーバのIPv4アドレスを入力します。

注：この例では、10.49.5.11が使用されています。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv4

Client Lease Time: Min (Range: 5-4320)

Range Start:

Range End:

DNS Server:

Static DNS1:

Static DNS2:

WINS Server:

DHCP Options

Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

Option 67 - Configuration Filename:

ステップ6:[Static DNS 2] フィールドに、セカンダリDNSサーバのIPv4アドレスを入力します。

注：この例では、10.22.22.11が使用されています。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv4

Client Lease Time: Min (Range: 5-4320)

Range Start:

Range End:

DNS Server:

Static DNS1:

Static DNS2:

WINS Server:

DHCP Options

Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

Option 67 - Configuration Filename:

[ステップ7:\(オプション\)](#)WINS Serverフィールドに、NetBIOS名をIPアドレスに解決するWindows Internet Naming Service(WINS)のIPv4アドレスを入力します。

注：この例では、空白のままにします。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv4

Client Lease Time: Min (Range: 5-4320)

Range Start:

Range End:

DNS Server:

Static DNS1:

Static DNS2:

WINS Server:

DHCP Options

Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

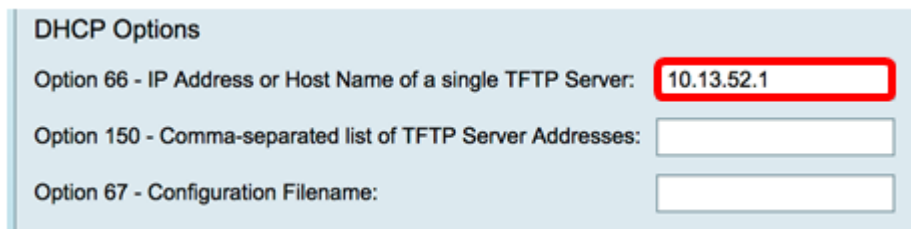
Option 67 - Configuration Filename:

DHCP オプション

TFTPサーバを使用すると、管理者はネットワーク上のデバイスのコンフィギュレーションファイルを保存、取得、およびダウンロードできます。DHCPサーバは、ネットワーク上のデバイスにIPアドレスをリースして配布します。デバイスが起動し、IPv4またはIPv6アドレスとTFTPサーバのIPアドレスが事前に設定されていない場合、デバイスはオプション66、67、および150を使用してDHCPサーバに要求を送信します

ステップ8: (オプション) [Option 66]フィールドに、1台のTFTPサーバのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

注：この例では、10.13.52.1が使用されています。



DHCP Options

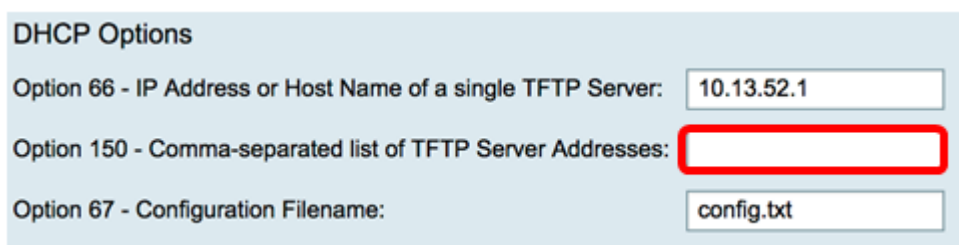
Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

Option 67 - Configuration Filename:

ステップ9: (オプション) [Option 150]フィールドに、IPアドレスのストリームをカンマで区切って入力します。

注：このオプションでは、フィールドは空白のままです。



DHCP Options

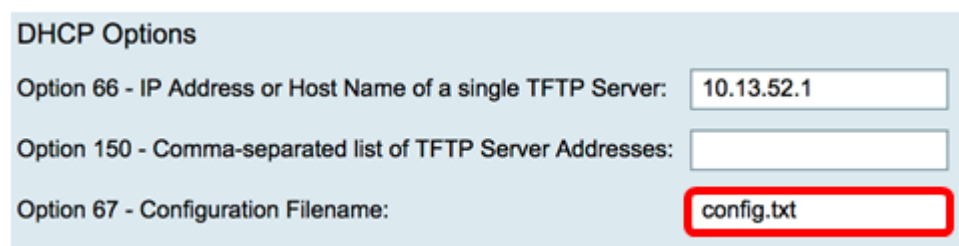
Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

Option 67 - Configuration Filename:

ステップ10: (オプション) [Option 67]フィールドに、ブートファイル名を入力します。

注：この例では、config.txtが使用されています。



DHCP Options

Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

Option 67 - Configuration Filename:

ステップ 11 : [Next] をクリックします。

設定 IPv6 DHCP サーバ

ステップ12:[Select DHCP Type for IPv6]で、IPv6のDHCPサーバを有効または無効にするかどうかを選択するオプションボタンを選択します。オプションは次のとおりです。

- [Disabled]:IPv6 DHCPサーバを設定しない場合は、このオプションを選択します。
- [Server]:IPv6 DHCPサーバの設定を行うには、このオプションを選択します。

注：この例では、[Server]が選択されています。

Select DHCP Type for IPv6

Disabled

Server

Next Cancel

ステップ 13 : [Next] をクリックします。

Select DHCP Type for IPv6

Disabled

Server

Next Cancel

ステップ14: 「クライアントリース時間」フィールドに、リース期間の時間(分)を入力します。これは、クライアントがDHCPプロセスによって与えられたIPアドレスを使用してルータに接続できる時間です。

注 : この例では、1440 が使用されます。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv6

Client Lease Time: 1440 Min (Range: 5-43200, Default: 1440)

Range Start:

Range End:

DNS Server: dns-server-static

Static DNS1:

Static DNS2:

OK Cancel

ステップ15:[Range Start]フィールドに、VLAN内のホストに割り当てるIPアドレスのプールの開始IPアドレスを入力します。範囲は、PPTPとSSL VPNをオーバーラップさせずにサーバが割り当てることができるIPアドレスの最大数まで設定できます。

注：この例では、fec0:2:0:0:0:0:1が使用されています。

The screenshot shows a dialog box titled "Add/Edit New DHCP Configuration". Under the heading "Select DHCP Server for IPv6", there are several input fields: "Client Lease Time" (1440), "Range Start" (fec0:2:0:0:0:0:1, highlighted with a red box), "Range End" (fec0:2:0:0:0:0:1fff), "DNS Server" (dns-server-static), "Static DNS1", and "Static DNS2". At the bottom are "OK" and "Cancel" buttons.

ステップ16:[Range End]フィールドに、VLAN内のホストに割り当てるIPアドレスのプールの終了IPアドレスを入力します。これは、VLANで設定されたIPアドレスの範囲内である必要があります。

注：この例では、fec0:2:0:0:0:0:1fffが使用されています。IPv6アドレスは自動的に契約されます。

The screenshot shows the same dialog box as above, but now the "Range End" field is highlighted with a red box and contains the IPv6 address "fec0:2:0:0:0:0:1fff".

ステップ17:[DNS Server]ドロップダウンリストから、使用するDNSのタイプを選択します。ドメインネームシステム(DNS)は、ユーザにとって理解しやすいドメイン名を、デバイスが使用するIPアドレスに変換するインターネットサービスです。

- dns-server-proxy : ルータはDHCPクライアントのDNSサーバとして動作します。ルータは、そのルータ上のすべてのDNS着信クエリーの仲介役として機能し、未知の要求を送信して将来の使用のために保存します。
- dns-server-provided-isp:DHCPクライアントにインターネットサービスプロバイダー(ISP)のDNSサーバのIPを提供し、DNSクエリを実行します。
- dns-server-static : ユーザが入力したDNSサーバのIPアドレスをDHCPクライアントに提供して、DNSクエリを解決します。

注：この例では、dns-server-provided-ispが使用されています。IPv6アドレスは自動的に契約されます。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv6

Client Lease Time: Min (Range: 5-43200, Default: 1440)

Range Start:

Range End:

DNS Server:

Static DNS1:

Static DNS2:

ステップ18: (オプション) [Static DNS1]および[Static DNS2]フィールドに、プライマリおよびセカンダリDNSサーバのIPv6アドレスを入力します。

注：この例では、dns-server-provided-ispが使用されているため、フィールドは空白のままです。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv6

Client Lease Time: Min (Range: 5-43200, Default: 1440)

Range Start:

Range End:

DNS Server:

Static DNS1:

Static DNS2:

手順 19 : [OK] をクリックします。

Add/Edit New DHCP Configuration

Select DHCP Server for IPv6

Client Lease Time: Min (Range: 5-43200, Default: 1440)

Range Start:

Range End:

DNS Server:

Static DNS1:

Static DNS2:

メインのLAN/DHCPページに戻ります。このエリアには、最近設定したDHCP設定が表示されます。

LAN/DHCP Settings Table		
Interface/Circuit ID	DHCP mode	Range/Relay Server
<input type="checkbox"/> VLAN1	IPv4:server IPv6:disable	192.168.1.100-192.168.1.149
<input checked="" type="checkbox"/> VLAN25	IPv4:server IPv6:server	192.168.11.100-192.168.11.149 fec0:2::1-fec0:2::1fff

Add Edit Delete

IP Version 4

DHCP Mode: server
Address Range: 192.168.11.100-192.168.11.149
Prefix Length: 24
DNS Server: 10.49.5.11 10.22.22.11

IP Version 6

DHCP Mode: server
Address Range: fec0:2::1-fec0:2::1fff
Prefix Length: 64
DNS Server:

Apply Cancel

ステップ20:[Apply]をクリックします。

これで、VLANのLAN/DHCP設定が正常に設定されました。

オプション82の設定

ステップ1:[Option 82 Circuit]フィールドに、回線IDのユーザ定義の説明を入力します。

注：この例では、CiscoNetworkが使用されています。

Add/Edit New DHCP Configuration

Interface: VLAN25

Option 82 Circuit: DiscoNetwork

0x12345678

Next Cancel

ステップ2:[Circuit ID]フィールドに、DHCP要求が送信された回線インターフェイスを識別するユーザ定義のASCII文字列を入力します。

注：この例では、回線IDとして0x12345678が使用されています。

Add/Edit New DHCP Configuration

Interface VLAN25

Option 82 Circuit DiscoNetwork

0x12345678

Next Cancel

ステップ 3 : [Next] をクリックします。

Add/Edit New DHCP Configuration

Interface VLAN25

Option 82 Circuit DiscoNetwork

0x12345678

Next Cancel

ステップ4:[Configure Default Gateway IP Address for Option 82]領域の[IP Address]フィールドに、デフォルトゲートウェイとして設定するIPv4アドレスを入力します。

注 : この例では、192.168.11.1が使用されています。

Configure Default Gateway IP Address for Option 82

IP Address: 192.168.11.1

Subnet Mask:

ステップ5:[Subnet Mask]フィールドに、上記のIPアドレスのサブネットマスクを入力します。

注 : この例では、255.255.255.0が使用されています。

Configure Default Gateway IP Address for Option 82

IP Address:	<input type="text" value="192.168.11.1"/>
Subnet Mask:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>

ステップ 6 : [Next] をクリックします。

設定 IPv4 DHCP サーバ

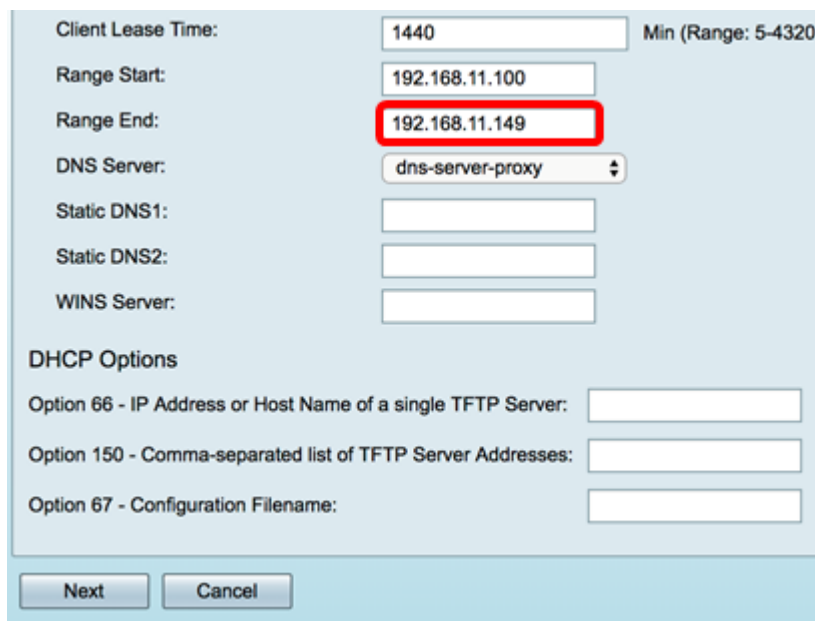
ステップ1:[*Client Lease Time*]フィールドに、リース期間の時間(分)を入力します。これは、クライアントがDHCPプロセスによって与えられたIPアドレスを使用してルータに接続できる時間です。

Client Lease Time:	<input type="text" value="1440"/>	Min (Range: 5-4320)
Range Start:	<input type="text" value="192.168.11.100"/>	
Range End:	<input type="text" value="192.168.11.149"/>	
DNS Server:	<input type="text" value="dns-server-proxy"/>	
Static DNS1:	<input type="text"/>	
Static DNS2:	<input type="text"/>	
WINS Server:	<input type="text"/>	
DHCP Options		
Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:	<input type="text"/>	
Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:	<input type="text"/>	
Option 67 - Configuration Filename:	<input type="text"/>	
<input type="button" value="Next"/> <input type="button" value="Cancel"/>		

ステップ2:[Range Start] フィールドに、VLAN内のホストに割り当てるIPアドレスのプールの開始IPアドレスを入力します。範囲は、PPTPとSSL VPNをオーバーラップさせずにサーバが割り当てることができるIPアドレスの最大数まで設定できます。

Client Lease Time:	<input type="text" value="1440"/>	Min (Range: 5-4320)
Range Start:	<input type="text" value="192.168.11.100"/>	
Range End:	<input type="text" value="192.168.11.149"/>	
DNS Server:	<input type="text" value="dns-server-proxy"/>	
Static DNS1:	<input type="text"/>	
Static DNS2:	<input type="text"/>	
WINS Server:	<input type="text"/>	
DHCP Options		
Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:	<input type="text"/>	
Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:	<input type="text"/>	
Option 67 - Configuration Filename:	<input type="text"/>	
<input type="button" value="Next"/> <input type="button" value="Cancel"/>		

ステップ3:[Range End] フィールドに、VLAN内のホストに割り当てるIPアドレスのプールの終了IPアドレスを入力します。これは、VLANで設定されたIPアドレスの範囲内である必要があります。

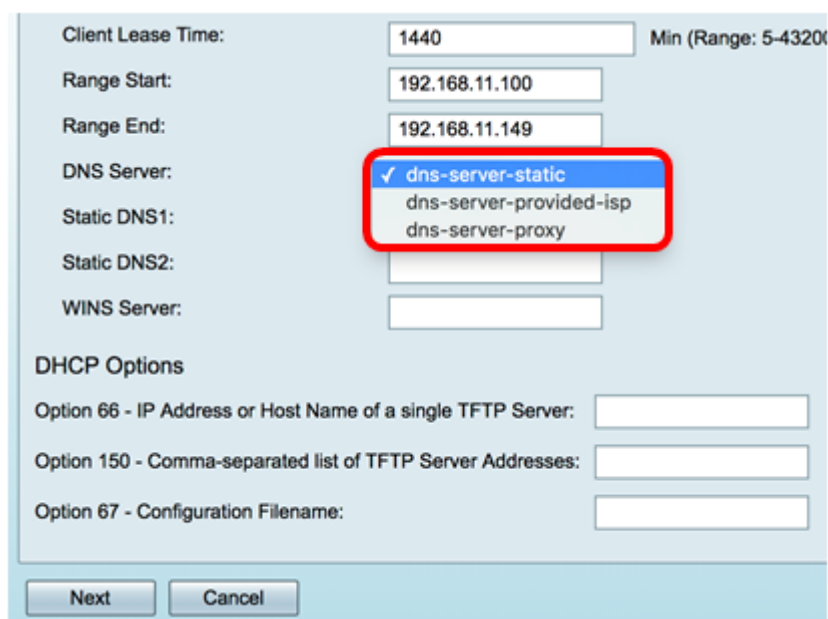


The screenshot shows a DHCP configuration window. The 'Range End' field is highlighted with a red rectangle and contains the value '192.168.11.149'. Other fields include 'Client Lease Time' (1440), 'Range Start' (192.168.11.100), 'DNS Server' (dns-server-proxy), and several empty fields for Static DNS and WINS Server. Below these are DHCP Options for TFTP servers and a configuration filename. 'Next' and 'Cancel' buttons are at the bottom.

ステップ4:[DNS Server]ドロップダウンリストから、使用するDNSのタイプを選択します。ドメインネームシステム(DNS)は、ユーザにとって理解しやすいドメイン名を、デバイスが使用するIPアドレスに変換するインターネットサービスです。

- dns-server-proxy : ルータはDHCPクライアントのDNSサーバとして動作します。ルータは、そのルータ上のすべてのDNS着信クエリーの仲介役として機能し、未知の要求を送信して将来の使用のために保存します。
- dns-server-provided-isp:DHCPクライアントにインターネットサービスプロバイダー(ISP)のDNSサーバのIPを提供し、DNSクエリを実行します。
- dns-server-static : ユーザが入力したDNSサーバのIPアドレスをDHCPクライアントに提供して、DNSクエリを解決します。

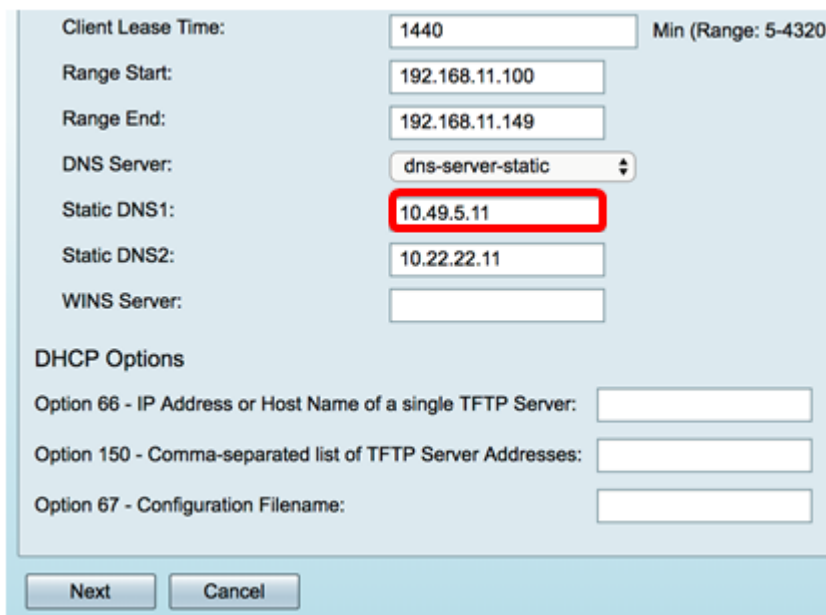
注 : この例では、dns-server-staticが選択されています。他のユーザが選択されている場合は、ステップ7に[進んでください](#)。



The screenshot shows the same DHCP configuration window as in step 3, but with the 'DNS Server' dropdown menu open. The 'dns-server-static' option is selected and highlighted with a red rectangle. Other options visible are 'dns-server-provided-isp' and 'dns-server-proxy'. The 'Range End' field still contains '192.168.11.149'. 'Next' and 'Cancel' buttons are at the bottom.

ステップ5:[静的DNS1]フィールドに、プライマリDNSサーバのIPv4アドレスを入力します。

注：この例では、10.49.5.11が使用されています。



The screenshot shows a DHCP configuration window with the following fields and values:

Client Lease Time:	1440	Min (Range: 5-4320)
Range Start:	192.168.11.100	
Range End:	192.168.11.149	
DNS Server:	dns-server-static	
Static DNS1:	10.49.5.11	
Static DNS2:	10.22.22.11	
WINS Server:		

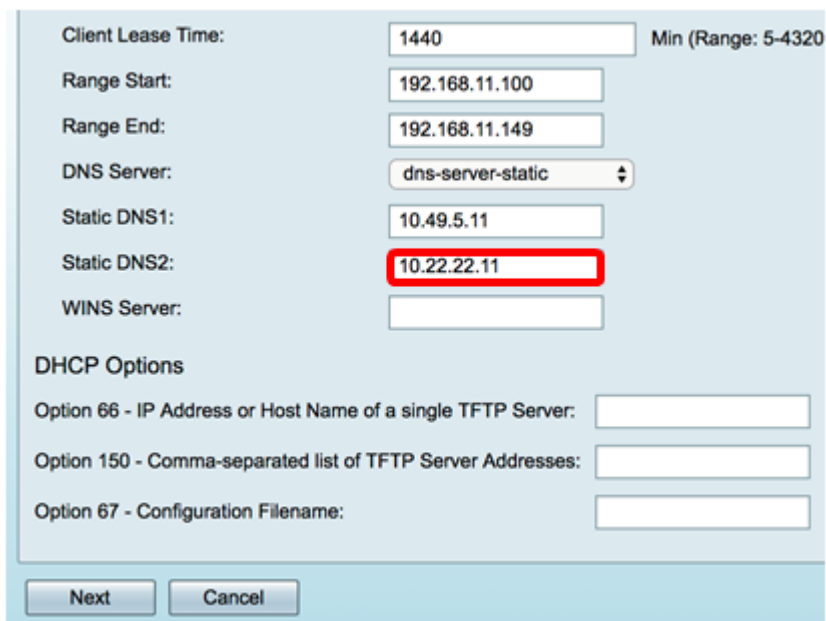
Below the fields are DHCP Options:

- Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:
- Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:
- Option 67 - Configuration Filename:

At the bottom are 'Next' and 'Cancel' buttons.

ステップ6:[Static DNS 2] フィールドに、セカンダリDNSサーバのIPv4アドレスを入力します。

注：この例では、10.22.22.11が使用されています。



The screenshot shows a DHCP configuration window with the following fields and values:

Client Lease Time:	1440	Min (Range: 5-4320)
Range Start:	192.168.11.100	
Range End:	192.168.11.149	
DNS Server:	dns-server-static	
Static DNS1:	10.49.5.11	
Static DNS2:	10.22.22.11	
WINS Server:		

Below the fields are DHCP Options:

- Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:
- Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:
- Option 67 - Configuration Filename:

At the bottom are 'Next' and 'Cancel' buttons.

[ステップ7:\(オプション\)](#)WINS Serverフィールドに、NetBIOS名をIPアドレスに解決するWindows Internet Naming Service(WINS)のIPv4アドレスを入力します。

注：この例では、空白のままにします。

Client Lease Time:	<input type="text" value="1440"/>	Min (Range: 5-4320)
Range Start:	<input type="text" value="192.168.11.100"/>	
Range End:	<input type="text" value="192.168.11.149"/>	
DNS Server:	<input type="text" value="dns-server-static"/>	
Static DNS1:	<input type="text" value="10.49.5.11"/>	
Static DNS2:	<input type="text" value="10.22.22.11"/>	
WINS Server:	<input type="text"/>	
DHCP Options		
Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:	<input type="text"/>	
Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:	<input type="text"/>	
Option 67 - Configuration Filename:	<input type="text"/>	

DHCP オプション

ステップ8: (オプション) [Option 66]フィールドに、1台のTFTPサーバのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

注：この例では、10.13.52.1が使用されています。

DHCP Options	
Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:	<input type="text" value="10.13.52.1"/>
Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:	<input type="text"/>
Option 67 - Configuration Filename:	<input type="text"/>

ステップ9: (オプション) [Option 150]フィールドに、IPアドレスのストリームをカンマで区切って入力します。

注：このオプションでは、フィールドは空白のままです。

DHCP Options	
Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:	<input type="text" value="10.13.52.1"/>
Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:	<input type="text"/>
Option 67 - Configuration Filename:	<input type="text" value="config.txt"/>

ステップ10: (オプション) [Option 67]フィールドに、ブートファイル名を入力します。

注：この例では、config.txtが使用されています。

DHCP Options

Option 66 - IP Address or Host Name of a single TFTP Server:

Option 150 - Comma-separated list of TFTP Server Addresses:

Option 67 - Configuration Filename:

ステップ11: をクリックします

[LAN/DHCP Settings]ページに戻ります。

ステップ12:[Apply]をクリックします。

LAN/DHCP Settings

Interface/Circuit ID	DHCP mode	Range/Relay Server
<input type="checkbox"/> VLAN1	IPv4:server IPv6:disable	192.168.1.100-192.168.1.149
<input checked="" type="checkbox"/> 0x12345678	IPv4:server IPv6:disable	192.168.11.100-192.168.11.149

IP Version 4

DHCP Mode: server
Address Range: 192.168.11.100-192.168.11.149
Prefix Length: 24
DNS Server: 4.2.2.2 8.8.8.8

IP Version 6

DHCP Mode: disable

これで、RV34xシリーズルータでLANとDHCPの設定が正常に完了したはずです。

この記事は参考になります。 [RV34xシリーズルータに関するFAQ](#)

このサイトには、興味深い記事へのリンクが掲載されています。 [RV34xシリーズルータ製品ページ](#)

この記事に関連するビデオを表示...

シスコのその他のテクニカルトクを表示するには、[ここをクリックしてください](#)